

学会や共同研究などでいろいろな場所を訪れる際に、楽しみの一つがその地域での名産や名物料理などを食することである。これまで仙台を訪問すると、昼食には牛タンを様々な店で食べていたが、最近マーボー焼きそばを食べることが多い。牛タンの店ほどではないが、仙台市内を歩くとマーボー焼きそばと書かれたのぼり旗を見ることも多い。元々麻婆豆腐も好きだったため、仙台で初めてマーボー焼きそばを食べた後、出張から家に帰ったときは、オリジナルのマーボー焼きそばを作って家族に振舞ったほどである。通常の焼きそばの上にかけてたり、硬いバリ麺に麻婆豆腐をかけたたりすることもでき、意外に簡単に作ることができる。仙台からのお土産には、ずんだ餅を買って帰ることが多い。その他の仙台名物のお土産として、笹かまぼこや牛タンなども買って帰ったことがあるが、家族にはずんだ餅が一番好評である。ずんだ餅もインターネット上に公開されているレシピをまねて、スーパーで買ってきた枝豆をゆでてすりつぶし、砂糖などと混ぜて餡を作り、それもちや白玉と合わせて作ってみた。しかし、こちらはお土産に売られているずんだ餅とは全然違っていった。ずんだ餡を作る際には、枝豆の粉碎や、砂糖や塩と混合し、白玉や餅と合わせる必要があるが、この粉碎や混合技術にはおそらく和菓子づくりのための熟練の技が必要なのだと改めて感じた。(Little-Zebra)

四分法

管理職の愚痴

組織を運営するためのさまざまな部署があり、それらの部署には管理職が配置されます。大学も組織体の一つです。大学を運営するために、さまざまな部署が構成され、それぞれの部署には管理職となる人がいます。一口に大学といっても、いろいろな目的で設置されているために、その目的に応じてさまざまな設置形態があります。そして、大学に対する要求は時代や地域等によっても異なるために、その目的・設置形態も一致せず、また変化していきます。そのため、多種多様な設置者と大学の関係性、自律性、内部組織等が存在します。

私も年を取って、ここ数年は管理職の立場として大学運営に関与するようになりました。大学の設置目的を達成するためには、大学の運営において「意思決定を一元化する」ことは重要と思っています。目的は同じであっても、目的を達成するまでのアプローチは、それぞれの組織の構成員によってかなり異なります。大学は学科や学部等の教育を直接的に実施する教官組織だけでなく、事務手続きを担当する職員組織もいますし、学外委員会等の組織もあります。何よりも教職員の数よりも多くの学生がいます。自分がやりたい事を実行に移すためには、まずはその部署の仲間と上位の管理職を説得した後に、横並びの関係部署を説得して、合意をとらなければなりません。企業であれば、将来を見据えつつも時代のニーズに沿って利益を出すために、迅速に意思決定をして実行に移行することは可能です。しかし、大学が出す利益はすぐに現れないことが多いので、評価することは難しいです。そのために、大学という組織では、議論や検証のプロセスを重視し、意思決定までには時間がかかり、それを実施に移行するまでに更に時間がかかります。やりたい事を実行に移すまでには、持続的に大きなエネルギーを必要とします。やりがいは感じますが、年を取ってからやるのはなかなか辛いものがあります。今は役職から解放され、ほっと一息しつつ、論文執筆に勤しんでいます。(忍者)

今年の夏は(も?)猛暑で、少し歩くだけでも汗が流れてくる。熱中症にならないためにも水分をよくとるように心掛けている。アルコールは別だが、汗をかいた後にはお茶や甘いスポーツ飲料を飲むよりも炭酸水が飲みたくなる。このきっかけは学生時代に初めてヨーロッパに行ったときに、レストランで水を頼むと、炭酸水が出てきたことである。日本の場合、水道水には軟水が利用されているが、ヨーロッパではカルシウムやマグネシウムが多く含まれた硬水であり、炭酸ガスを含むことでマイルドになるためだと言われている。最近では、日本でも自宅で手軽に炭酸水を作ることができ、炭酸水メーカーがCMでも流れ、家電店で売られている。手作りでも、食用のクエン酸と重曹を入れて作ることができるが、店で売られているのに比べると飲み心地などが物足りなく感じるし、たいがい炭酸水を飲みたくなるのは運動して汗をかいたりしているときである。先日炭酸ガスを扱っている会社の方とお話する機会があったのだが、炭酸水の市場規模はここ10年ほどで大幅に拡大したそうである。さらに、製油所の閉鎖や円安の影響により、炭酸ガスの価格も上昇しているそうである。そもそも猛暑の原因は二酸化炭素の増加ともいわれているが、その影響で炭酸水が飲みたくなっているのに炭酸ガス

自体は入手しづらくなるというこの悪循環を好転させる技術はないかと、炭酸ソーダで割ったハイボールを飲みながら考えようと思う。

(小柚子胡椒)

四分法

我が家の支配者

我が家には影の支配者がいる。もちろん私ではありません。では奥さんか? いやいや、口うるさいだけで何も力があるわけではありません。じゃあS君ですね! それも違うんです。彼はYouTubeの事しか頭にないただの能天気小僧です。あれ? では他に誰かいるのか? そうなんです、我が家にはまさに影の支配者が居るんです。我が家で一番の大金持ちです。その方はカケイさんとおっしゃいます。もちろん俳優の笈利夫さん等が居るわけではありません。漢字で表記すると「家計」さんです。私は月3万円程度のお小遣いで生活しておりますが、そのお小遣いは家計さんから頂いております。うちの奥さんは小説やマンガ(どのようなジャンルかは秘密)をよく買いますし、知らないうちに新しい服やカバンを買ってきます。(それ似たようなの持って全然使ってませんよ!) 誰のお金でそんな「しょうもない」もん買ってきたんや!? って聞いたら家計さんが買ってくれるらしいんです。家計さん、私には厳しいくせに、うちの奥さんやS君には激甘でなんでもポイポイと気前よく買ってくれるらしいんです。「家計さんは、なんで君らにだけ甘いん?」って聞いたら、「私は半額引きとか『家計にやさしい』ものを買ったりして労わってるから。あんたはお酒ばかり飲んで家計さんを苦しめてるから」ですって。私だって焼酎をボトル入れて飲んだりして労わっているのに。皆さんどう思われます? 一度大々的にアンケートを実施しようかと真剣に考えております(嘘)。(炭水化物)

一般社団法人 日本粉体工業技術協会 本部：〒600-8176 京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 番地 第5キョートビル7階  
TEL 075-354-3581 FAX 075-352-8530  
一般社団法人 日本粉体工業技術協会 東京事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館5階  
TEL 03-3815-3955 FAX 03-3815-3126

**POWTEX®2024 (第25回国際粉体工業展東京) リアルとオンラインで開催!**

当協会主催の「POWTEX2024」が、11月27日(水)から29日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催されます。初めて粉の世界に興味を持った方、製造方法や機械を求めている方、粉に関する知識を深めたい方、販売製品やメーカーを探している方、トレンド技術を知りたい方、そんな関心を持たれた多くのお客様を盛り沢山の展示会内併催行事でお迎えすべく準備を進めております。リアル展示会に先がけ、11月11日(月)からオンライン展を開催します。ご来場の事前予習に是非お役立てください。皆様のご参加を心からお待ちしております。

◇開催概要◇

会 期：11月27日(水)～29日(金) 9:30～17:00  
会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール  
主 催：(一社)日本粉体工業技術協会  
オンライン展会期：11月11日(月)9:30～12月26日(木)17:00

展示会 URL：https://www.powtex.com/tokyo/

“POWTEX2024”で検索!



◇新企画「PXステーション」“未来をつくるPX (Powder-technology Transformation)”◇

前回の大阪展で大好評だった「PXステーション」を東京展でも初開催。

「POWTEX®2024の歩き方」, 「公的研究機関展示紹介」, 「粉体技術について聞いてみる(粉体の加工技術 編/粉の動き 編/液中の粉の性質 編)」, 「わが社のPX(サーキュラーエコノミー/電池製造プロセス/3Dプリンタ)」など、来場者参加型のイベントを多数企画しております。

◇全セッション参加無料! 多彩な併催行事を開催!!◇

**【11月27日(水)】**

▼特別企画

「20～30年展示商品が変わらない 日本のものづくりはヤバいのではないかと? どうする日本の製造業?」

製造業系 YouTuber ものづくり太郎氏(株式会社ブーステック 代表取締役)

▼粉体機器ガイダンス(機器選定の基礎)「粉体ハンドリング」

粉体ハンドリング分科会 コーディネータ 松坂 修二 氏(京都大学)

粉体ハンドリング分科会 コーディネータ 田中 敏嗣 氏(大阪大学大学院)

粉体ハンドリング分科会メンバーによるプレゼンテーション

(シンフォニアテクノロジー, 村上精機工作所)

▼粉体工学入門セミナー(粉体の加工技術)

大阪公立大学 綿野 哲 氏

▼PXフォーラム「サーキュラーエコノミー」

経済産業省 葉山 緑 氏/デンソー 清野 正資 氏/早稲田大学理工学術院 所 千晴 氏

▼学生ツアー

学生, 来年度入社予定社員を対象として, 講演, 展示会場内でのツアー, 交流会を開催します。

▼粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向

創価大学 松山 達 氏/同志社大学 森 康維 氏/名古屋工業大学 藤 正督 氏/

堀場テクノサービス 榎野 成視 氏/武田コロイドテクノ・コンサルティング 武田 真一 氏

**【11月28日(木)】**

▼粉体機器ガイダンス(機器選定の基礎)「計装測定」

計装測定分科会 名誉コーディネータ 森 康維 氏(同志社大学)

計装測定分科会メンバーによるプレゼンテーション

(堀場製作所, セイシン企業, 大塚電子, アントンパール・ジャパン)

- ▼粉体工学入門セミナー (粉の動き)  
東北大学 加納 純也 氏
- ▼PX フォーラム「電池製造プロセス」  
日産自動車 在原 一樹 氏/パナソニック エナジー 武野 光弘 氏/関西ペイント 檜原 篤尚 氏
- ▼アカデミックコーナープレゼンテーション  
日本の粉体技術を支える若手研究者の研究成果発表と表彰を行います。
- ▼PX シーズ賞受賞記念特別講演会  
北見工業大学 大野 智也 氏/広島大学大学院 平野 知之 氏/京都大学大学院 渡邊 哲 氏/  
愛知学院大学 安永 峻也 氏
- ▼AI 技術利用に関するセミナー「ものづくりにおける AI の活用」  
理化学研究所 三好 建正 氏/明治大学 金子 弘昌 氏/千代田化工建設 前川 宗則 氏
- ▼粉じん爆発情報セミナー  
労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 八島 正明 氏/  
粉じん爆発委員会 (産業安全技術協会) 山隈 瑞樹 氏
- ▼テクノマルシェ ~産学官技術交流会~  
《参加予定者》  
PX シーズ賞受賞記念特別講演会講演者, アカデミックコーナー参加者, 他

#### 【11月29日(金)】

- ▼粉体機器ガイダンス (機器選定の基礎)「乾燥」  
乾燥分科会 コーディネータ 立元 雄治 氏 (静岡大学)  
乾燥分科会メンバーによるプレゼンテーション  
(大川原製作所, 奈良機械製作所, 月島機械, 大川原化工機)
- ▼粉体工学入門セミナー (液中の粉の性質)  
同志社大学 石田 尚之 氏
- ▼PX フォーラム「粉体プロセス DX」  
東京大学大学院 酒井 幹夫 氏/構造計画研究所 渡辺 香 氏
- ▼PX フォーラム「金属積層造形技術 (3D プリンター) の最新展開」  
(国研) 産業技術総合研究所 芦田 極 氏 他, 関連講演調整中
- ▼粒子径計測入門セミナー  
創価大学 松山 達 氏
- ▼海外情報セミナー  
上海交通大学 Assoc. prof. Zhanqiu Tan, Prof. Di Zhang /塩野義製薬 田中 宏典 氏/  
ケルン大学 Prof. Sanjay Mathur

※プログラムは9月30日現在。

#### ◇併催・同時開催行事◇

- 製品技術説明会 (参加無料, 当日受付)  
会期中3日間, 展示会場内 A~D の4ルームにおいて, 各出展企業による製品・最新技術の発表, 説明が行われます。
- 特別展示ゾーン 出展社プレゼンテーション (参加無料, 当日受付)  
先端材料ゾーン, 粉体シミュレーションゾーンの出展各社によるショートプレゼンテーションを展示会場内特設ステージで実施します。  
【粉体シミュレーションゾーン】  
11月27日(水) 12:00 ~ 15:45 / 11月28日(木) 12:00 ~ 12:15 / 11月29日(金) 12:00 ~ 15:45  
【先端材料ゾーン】  
11月28日(木) 14:30 ~ 15:45
- 技術相談コーナー (参加無料, 事前予約制)  
主催者コーナーに技術相談コーナーを設け, 会期中3日間, 毎日4名の先生方が粉体技術に関する相談に応じます。ぜひ問題解決にご活用ください。
- 公的研究機関コーナー

(国研) 海洋研究開発機構, (一財) 化学物質評価研究機構, (国研) 産業技術総合研究所, (一財) 電力中央研究所, (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構, (国研) 物質・材料研究機構が現在取り組んでいる最先端の粉体に関する研究をパネルおよび実物展示にてご紹介いたします。

●一般社団法人粉体工学会 秋期研究発表会

11月26日(火)・27日(水)の2日間、粉体工学会が最新の研究成果報告と粉体技術発表を行います。

27日(水)は公開(参加無料・事前登録者予約制)の技術セッションとシンポジウムを開催します。

詳細は粉体工学会のホームページ (<https://www.sptj.jp/>) をご参照ください。

◇粉体技術総覧 2024 / 2025 掲載募集のご案内(巻頭に「注目の新製品」ページを新設)◇

毎回大好評で POWTEX のご来場者様にお持ち帰りいただいている粉体技術総覧。

ユーザー様は無論のこと、出展社にとっても活用できる資料になるよう粉体機器をはじめ、基礎的な粉体技術や情報が網羅されたガイドブックとして前回、大幅刷新しました。展示会終了後も、機器選定の資料に、粉体技術の問合せに、製造や計測の委託先の調査に、社内教育の資料に、幅広くご利用いただけます(数に限りがございますので、無くなり次第終了いたします)。

**展示会事務局**

(株) シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4 階

TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: [info2024@powtex.com](mailto:info2024@powtex.com)

**主催者**

(一社) 日本粉体工業技術協会 東京事務所(本展示会窓口)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館 5 階

TEL: 03-3815-3955 FAX: 03-3815-3126

◆ **協会行事日程のご案内**

最新情報は協会サイトからご確認ください。

行事の詳細は京都・協会本部または東京事務所にお問合せ下さい。

| 行事名                      | 月日               | 場所            | 備考   |
|--------------------------|------------------|---------------|--|
| POWTEX®2024<br>国際粉体工業展東京 | 11月27日(水)～29日(金) | 東京/東京ビッグサイト   |  |
| 粉体技術者養成講座「集じん」           | 12月9日(月)～10日(火)  | 名古屋/ウイंकあいち   | 1日目 13:00～18:10<br>18:30～20:30 交流会<br>2日目 8:50～14:35 |
| 粉体技術者養成講座「分級」            | 12月19日(木)～20日(金) | 神奈川/(株) 徳寿工作所 | 1日目 10:00～16:45<br>17:30～19:30 交流会<br>2日目 9:00～16:50 |
| 粉体技術者養成講座「ろ過」            | 1月22日(水)～23日(木)  | 大阪/関西金網(株)    |  |
| 粉じん爆発・火災安全研修<br>[中級・技術編] | 3月13日(木)～14日(金)  | 未定            |  |



### ◆ 分科会の開催案内

会員の方ならどなたでも参加できます。非会員の方でも参加できますので、参加を希望される場合は、各分科会の申込み先あるいは協会本部までお問合せください。分科会の活動状況と詳しい開催案内は協会ホームページでご確認ください。

| 行事名               | 月日            | 時間          | 場所                          |
|-------------------|---------------|-------------|-----------------------------|
| 第2回混合・成形分科会       | 11月1日(金)      | 13:00～17:00 | 京都／(株)菊水製作所 本社・御池分工場        |
| 第3回環境エネルギー・流動化分科会 | 11月15日(金)     | 13:00～19:30 | 茨城／高砂熱学工業(株)高砂熱学イノベーションセンター |
| 第2回晶析分科会          | 11月22日(金)     | 12:00～17:30 | 兵庫／プライミクス(株)                |
| 第2回微粒子ナノテクノロジー分科会 | 2025年1月16日(木) | 未定          | 仙台／東北大学ナノテラス                |

#### 分科会開催案内



[https://appie.or.jp/introduction/organization/technical\\_groups/](https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_groups/)

### ◆ 粉体関連総合情報誌「粉体技術」

日本粉体工業技術協会が発行する月刊「粉体技術」は、粉体に関わるあらゆる技術、粉体領域に関する最新情報、マーケティング・マネージメントおよび海外情報など幅広い内容を網羅した粉体関連産業に携わる方々への総合情報誌です。一般の書店などでは容易に入手できませんので、ぜひ予約購読をお願い致します。

#### 【最新号】2024年11月号「未来の食卓」



<https://appie.or.jp/shirumanabu/publishing/funtaigijyutu/>

## 四分法原稿募集中！

気軽に読めて楽しめる四分法原稿にご投稿されませんか？

文字数 600 字程度で、なるべく“粉”に関連したものが望ましいのですが、

限定はいたしません。

ペンネームと共に、当会和文誌編集事務局宛（E-mail:kaishi@sptj.jp）へご投稿を

お願いいたします。

\*薄謝を進呈いたします。

## 博士学位取得者へ

博士学位を最近取得されました会員の皆さま、事務局までご連絡ください。

なお、会員の皆さまで、博士学位を取得される方をご存知の場合は、

（一社）粉体工学会 和文誌編集事務局までご一報ください。

TEL: 075-351-2318      FAX: 075-352-8530

E-mail: kaishi@sptj.jp

## 粉体工学会 行事予定

## ☆ 主催行事

| 開催期日                  | 行 事   | 会 場   | 掲載巻・号  |
|-----------------------|---|---|--------|
| 2024年                 |   |   |        |
| 11月6日(水)              | 2024年度 中部談話会 研究・技術討論会   | 愛知学院大学(愛知)                                  | 61巻10号 |
| 11月8日(金)              | 2024年度 第2回 関東談話会 講演・見学会<br>『横浜国立大学における粉体工学に関する研究とその周辺』          | 横浜国立大学常盤台キャンパス<br>(神奈川)                     | 61巻10号 |
| 11月11日(月)<br>} 12日(火) | 機械的単位操作に関する産学連携研究会<br>「粉体の機械的単位操作に関する参加型講演会(第10回)～次世代粉体ハンドリング～」 | 日本大学(東京)                                    | 61巻9号  |
| 11月12日(火)<br>} 13日(水) | 第41回 製剤と粒子設計シンポジウム<br>【参加募集・プログラム】                              | 岡山コンベンションセンター<br>(ママカリフォーラム)(岡山)            | 61巻10号 |
| 11月26日(火)<br>} 27日(水) | 2024年度 秋期研究発表会【参加募集】  | 東京ビッグサイト(東京)                                | 61巻10号 |
| 12月6日(金)              | 第15回 標準処方研究フォーラム<br>～マンニトールを賦形剤とする標準処方:<br>その1 乳糖標準処方との比較を中心に～  | 講演会: にぎたつ会館(愛媛)<br>交流会: 松山大学樋又キャンパス<br>(愛媛) | 本号     |

## ☆ 特別協賛行事

| 開催期日                  | 行 事                             | 会 場          | 掲載巻・号・URL   |
|-----------------------|---------------------------------|--------------|---|
| 2024年                 |                                 |              |   |
| 11月27日(水)<br>} 29日(金) | POWTEX® 2024<br>(第25回国際粉体工業展東京) | 東京ビッグサイト(東京) | <a href="https://www.powtex.com/tokyo/">https://www.powtex.com/tokyo/</a> |

## ☆ 共催, 協賛, 後援行事

| 開催期日                 | 行 事   | 会 場                      | 問合せ先             | TEL (FAX) E-mail URL  |
|----------------------|---|--------------------------|------------------|---|
| 2024年                |   |                          |                  |   |
| 11月1日(金)<br>} 30日(土) | 第78回 表面科学基礎講座<br>「表面・界面分析の基礎と応用」                            | オンライン開催                  | 日本表面真空学会         | 03-3812-0266<br>office@jvss.jp<br><a href="https://www.jvss.jp/jpn/activities/04/detail.php?eid=00020">https://www.jvss.jp/jpn/activities/04/detail.php?eid=00020</a> |
| 11月19日(火)            | 第9回 全固体電池学術共同研究拠点 全固体電池研究セミナー                               | 大阪公立大学(大阪)<br>(ハイブリッド開催) | 大阪公立大学 全固体電池研究所  | 072-254-8327<br>gr-knky-assb@omu.ac.jp  |
| 11月21日(木)            | 2024年度 静電気学会講習会<br>「静電気災害の事例と対策(1)～基礎・計測・除電技術, 液体災害, 粉体災害～」 | オンライン開催                  | 静電気学会            | 03-3815-4171<br>iesj@iesj.org<br><a href="http://www.iesj.org/academic/6.html">http://www.iesj.org/academic/6.html</a>  |
| 11月22日(金)            | 2024年度 第2回晶析分科会   | プライミクス株式会社(兵庫)           | 日本粉体工業技術協会 晶析分科会 | crystallization@noritake.com  |

|                       |   |   |                                       |  |
|-----------------------|---|---|---------------------------------------|--|
| 12月2日(月)              | 第19回若手シンポジウム<br>～材料分野の仕事と研究の<br>魅力～   | 同志社大学 大阪<br>サテライトキャン<br>パス(大阪)  | 日本材料学会<br>関西支部                        | 075-761-5324<br>kansai@office.jsms.jp<br>https://kansai.jsms.jp/   |
| 12月6日(金)              | Salt & Seawater Science<br>Seminar 2024   | 塩事業センター<br>海水総合研究所<br>(神奈川)   | 塩事業センター<br>海水総合研究所                    | 0465-47-3161<br>kouenkai@shiojigyo.or.jp<br>https://www.shiojigyo.com/<br>institute/event/ssss/            |
| 12月11日(水)<br>} 12日(木) | 第30回流動化・粒子プロセッ<br>シングシンポジウム(FB30)   | 新潟大学駅南キャ<br>ンパスときめいと<br>(新潟)  | 化学工学会粒子<br>流体プロセス部<br>会流動層分科会         | 086-256-9403<br>oshitani@ous.ac.jp<br>https://scej-fpp.org/partfluid/                                      |
| 12月12日(木)<br>} 13日(金) | 第11回分散凝集科学技術講<br>座 分散・凝集のすべて<br>一希薄系から濃厚系までの<br>あらゆる分散・凝集現象に関<br>わる研究者・技術者のための<br>最新理論とテクニク | オンライン開催   | 日本化学会 コ<br>ロイドおよび界<br>面化学部会           | jigyokukaku_03@colloid.<br>csj.jp<br>https://colloid.csj.<br>jp/202408/2024pt/                             |
| 12月13日(金)             | 第55回エンジニアリングセ<br>ラミックスセミナー  | 東京大学山上会館<br>(東京)  | 日本セラミック<br>ス協会エンジ<br>アリングセラ<br>ミックス部会 | 03-5841-8642<br>hyoshida@material.t.u-tokyo.<br>ac.jp<br>https://www.ceramic.or.jp/<br>bkouon/index_j.html |
| 12月17日(火)<br>} 18日(水) | 第33回微粒化シンポジウム   | 広島国際会議場<br>(広島)   | 日本液体微粒化<br>学会事務局                      | 06-6466-1588<br>infomation_atmz@ilass-<br>japan.gr.jp<br>https://www.ilass-japan.gr.jp/                    |
| 2025年                 |   |   |                                       |  |
| 1月10日(金)              | 共通基盤技術シンポジウム<br>2025～クライオ電子顕微鏡<br>技術を活用した液状材料・プ<br>ロセス研究の新展開～                               | 神戸大学 瀧川記<br>念学術交流会館<br>(兵庫)   | 化学工学会<br>材料・界面部会                      | 086-251-8083<br>scej-dmi@okayama-u.ac.jp   |
| 2月6日(木)<br>} 7日(金)    | GMPセミナー「医薬品製造に<br>関わるGMPの最新動向：講<br>演&見学会」   | 大阪科学技術セン<br>ター(大阪)<br>(見学会：塩野<br>フィネス(株)福<br>井事業所/ニプロ<br>ファーマ(株)伊<br>勢工場/沢井製薬<br>(株)三田工場) | 化学工学会関西<br>支部                         | 06-6441-5531<br>mail@kansai-scej.org<br>https://www.kansai-scej.org/<br>topics/5674                        |
| 4月22日(火)<br>} 23日(水)  | 第42回 空気清浄とコンタミ<br>ネーションコントロール研<br>究大会   | 早稲田大学国際会<br>議場(東京)  | 日本空気清浄協<br>会                          | 03-3665-5591<br>jaca@jaca-1963.or.jp<br>https://www.jaca-1963.or.jp/                                       |
| 7月1日(火)<br>} 4日(金)    | 第4回 安心・安全・環境に関<br>する計算理工学国際会議   | 神戸国際会議場<br>(兵庫)   | 日本計算工学会,<br>日本計算力学連<br>合              | https://www.compsafe2025.<br>org/  |

## ▶ 会員 消息

### 会 員 数

2024年9月30日現在

|       |      |
|-------|------|
| 維持会員  | 18社  |
| 賛助会員  | 68社  |
| 事業所会員 | 235社 |

|       |      |
|-------|------|
| 個人会員  | 376名 |
| 学生会員  | 64名  |
| 図書館会員 | 16社  |
| 名誉会員  | 89名  |
| 会員総数  | 866  |



## 第9回全固体電池学術共同研究拠点 全固体電池研究セミナー



**主催**：大阪公立大学研究推進機構全固体電池研究所

**共催**：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

**日時**：令和6年11月19日（火）15:00～16:30

**場所**：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A12 棟 ※ zoom を利用したハイブリッド開催

**参加費**：無料

**講師**：中村 浩 氏（株式会社豊田中央研究所 理事，スラリー研究領域リーダー）

**講演要旨**：カーボンニュートラルの流れの中で、モビリティの電動化とともに、それに必要な電池製造工場からのCO<sub>2</sub>排出の低減も求められている。電池作製工程の中で電極塗工工程の乾燥炉の乾燥や空調のエネルギーが占める割合が非常に大きい。そこでこの乾燥工程のCO<sub>2</sub>排出低減のために塗工工程でのスラリーの溶媒量の低減（高固形分濃度化）や溶媒を用いないドライ成膜が検討されている。高固形分濃度スラリーの塗工で、高品質と高性能を両立させるためには、スラリーのレオロジー挙動を制御することが重要である。また、ドライ成膜の実現のためには、粉体の複合化技術や成膜制御技術、定量評価技術が重要である。今回、成膜プロセスの革新に必要な高濃度スラリーのレオロジー制御技術、ドライ成膜の動向や具体的な必要技術を紹介する。

**参加申込**：以下よりお申し込みください。

・ forms リンク <https://forms.gle/JyfNGmFUqd1qb8ja9>

**問合せ先**：大阪公立大学 全固体電池研究所（学術共同拠点事務局）

E-mail: [gr-knky-assb@omu.ac.jp](mailto:gr-knky-assb@omu.ac.jp)

TEL: 072-254-8327



# 第15回 標準処方研究フォーラム

## ～マンニトールを賦形剤とする標準処方： その1 乳糖標準処方との比較を中心に～

今年度の標準処方研究フォーラムを以下の要領で開催します。

昨年度までテーマとしてきた連続造粒・打錠を一区切りとし、新たなテーマとして注目度の高い賦形剤であるマンニトールを含む標準処方の確立を目指した各種造粒・打錠実験を行い報告します。今回は、研究会で当初行っていた乳糖標準処方の実験も含めて実施し、両者の違いを明確にすることも試みました。また、フォーラムでは、従来通り、パネル口演・展示も募集しています。固形製剤に関わる多くの皆様のご参加をお待ちしています。

|       |  |                            |
|-------|--|----------------------------|
| と き   | 令和6年12月6日（金） 10:00～  |                            |
| ところ   | 講演会 にぎたつ会館   | 〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚 118-2 |
|       | 交流会 松山大学樋又キャンパス  | 〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4-2    |
| 主 催   | （一社）粉体工学会 製剤と粒子設計部会  |                            |
| 共 催   | （一社）粉体工業技術協会 粒子加工技術分科会   |                            |
| 参加費   | 主催・共催学協会員  | ¥16,500                    |
|       | 大学・公立研究機関関係  | ¥11,000                    |
|       | 学生   | ¥7,700                     |
|       | 非会員  | ¥25,300                    |
|       | パネル展示  | ¥22,000                    |
|       | 展示を希望される企業様は、口演担当者様の参加登録もお願い致します。  |                            |
|       | ※全て交流会費含む  |                            |
|       | ※消費税込み（登録番号 T4130005015191）  |                            |
| 申込方法  | ホームページ（ <a href="http://www.ppd-gifu.com/">http://www.ppd-gifu.com/</a> ）の参加申込フォーム、<br>または右記 QR コードからお申込み下さい |                            |
| 申込締切  | 令和6年11月28日（定員100名 定員になり次第締め切らせていただきます）   |                            |
| 問合せ先  | 粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局  | 松井智代                       |
|       | E-mail: matsui-to@gifu-pu.ac.jp  |                            |
|       | ☎ 080-9490-0689  |                            |
| パネル展示 | 展示費用   | 1ブース ¥22,000～ 3分程度の製品紹介あり  |
|       | 募集社数   | 12社（定数になり次第締め切らせていただきます）   |
|       | 申込方法   | 参加申込と同様                    |
|       | 申込締切   | 令和6年11月15日（金）              |



### ープログラムー

|             |                            |                     |
|-------------|----------------------------|---------------------|
|             | 総合司会                       | 中村承平（松山大）           |
| 10:00～10:05 | 開会の挨拶                      | 竹内 洋文（岐阜薬科大）        |
| 10:05～10:35 | 【解説講演 1】                   | 座長 竹内 洋文            |
|             | 乳糖標準処方からマンニトール標準処方提案に向けて   | 山田 昌樹（シミック CMO）     |
| 10:35～11:00 | 【解説講演 2】                   | 座長 市原 駿（エーザイ）       |
|             | D-マンニトールの特長と基礎物性およびグレードの解説 | 森川 瑤子（三菱商事ライフサイエンス） |
| 11:00～11:45 | 製品紹介                       | 展示各社                |
| 11:45～13:00 | 昼食                         | パネル討論               |



**【立会実験報告・質疑】**

- 13:00～13:20 D-マンニトールと乳糖の流動層造粒における違い  
13:20～13:40 D-マンニトールと乳糖の攪拌造粒における違い  
13:40～14:00 D-マンニトールと乳糖の押し出し造粒における違い  
14:00～14:20 3造粒法の造粒物の評価結果

座長 鵜野 澤一臣 (フロイント産業)  
河津 翔 (アステラス製薬)  
森本 泰明 (フロイント産業)  
田林 功至 (パウレック)  
浅井 直親 (ダルトン)  
樋口 雅治 (旭化成)

- 14:20～14:40 3造粒法の造粒物の打錠結果と錠剤物性評価結果  
14:40～14:50 3造粒に関する質疑応答

座長 渡邊 鉄太郎 (杏林製薬)  
武田 泰浩 (キッセイ薬品)  
星野 貴史 (信越化学工業)  
立会実験報告講演者

- 14:50～15:10 直打用乳糖および直打用マンニトールの打錠性の違いと錠剤物性

座長 糸川 昌太 (アリナミン製薬)

伏見 伸介 (菊水製作所)

- 15:10～15:40 コーヒーブレイク・パネル討論

**【総合討論】**

- 15:40～16:30 1) D-マンニトールの標準処方のもとめ  
2) 次年度に向けて

座長 坂本 宜俊 (松山大)  
立会実験報告講演者  
谷野 忠嗣 (シオノギファーマ)  
谷野 忠嗣 (シオノギファーマ)

- 16:30～16:35 閉会のあいさつ

砂田 久一 (名城大)

- 16:35～17:20 松山大学樋又キャンパスへ移動 (チャーターバス)

- 17:20～19:00 交流会

いま、欧州系航空会社の飛行機で北海道東方沖の上空を飛んでいる。締め切りが目前に迫ってきた編集後記の執筆にも、いい加減取りかからねばと思いついていたところ、機内食が配膳されてきた。白いトレイの上に、パン、バター、チョコレート菓子と、見慣れない茶色い紙箱がふたつ。どうもいつもと様子が違う気がする。何とも言えないインパクトを持った紙箱を少し四苦八苦しながら開けてみると、コールスローサラダと、すき焼き風御飯がこぢんまりと収まっている。ふと開け口に目をやると、気づくか気づかないかくらいの大きさの文字で、「知っているかい？この紙箱で年間39トンの使い捨てプラスチックの使用が削減できるのよ。」と、さりげなく主張している。ちょっと気になったので、もう少しきちんと紙箱を観察してみると、その側面には「この紙箱は北欧の森の木から作られています。」とのアピールもしっかりとされていた。さすがにファーストクラスでは紙の食器で配膳はされないのだろうと思いつつも、予期しない場面で欧州におけるサステナブルな社会の実現に向けた目まぐるしい変化の一部を垣間見ることとなった。世の中課題が山積するばかりではあるが、いろいろな人の努力が積み重なって、着々と対応が進んでいるようである。私たちの研究活動もそれを支える重要な一要素であってほしい。みなさまの貴重な研究成果、ぜひ粉体工学会誌にもお寄せください。(M.A.Y)

本会誌は会員の皆様の原稿でつくられます。会員の皆様方からの論文のほかに、解説、総説、技術資料、講座・講義、学位論文紹介、海外報告、四分法等の一般記事のご投稿もお願いいたします。投稿表紙ならびに投稿規程および投稿の手引きは当会のホームページ (<https://www.sptj.jp>) よりダウンロードできます。投稿規程と投稿の手引きは、1号に掲載しています。

## 編集委員

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 委員長  | 飯村 健次  |       |
| 副委員長 | 田原 耕平  |       |
| 編集委員 | 芦澤 直太郎 | 飯島 志行 |
|      | 石田 尚之  | 岩崎 智宏 |
|      | 荻 崇    | 門田 和紀 |
|      | 加納 純也  | 小澤 隆弘 |
|      | 近藤 光   | 高井 千加 |
|      | 田中 秀和  | 丹野 賢二 |
|      | 中村 圭太郎 | 仲村 英也 |
|      | 松永 拓郎  | 山本 徹也 |
|      | 吉田 幹生  | 渡邊 哲  |
| 事務担当 | 奥村 しのぶ |       |

## ◆ 次号予告 ◆

|              |   |             |
|--------------|---|-------------|
| 巻頭言          | 粉体工学・粉体技術と“社会貢献”                            | 佐藤 浩二       |
| 論文           | 遊星ボールミルを用いた機能分離型のコアシェル構造を有する樹脂微粒子の作製と耐熱性の評価 | 永井 孝 他      |
| 解説小特集 「粉と食品」 |   |             |
| 解説           | 「粉と食品」解説小特集について                             | 山本 徹也 他     |
| 解説           | 揚げ物調理におけるおからの検討と品質評価                        | 柴田 (石渡) 奈緒美 |
| 解説           | 中アミロース米の粉を用いたグルテンフリー麺について                   | 我如古菜月 他     |
| 解説           | 「高食物繊維小麦」の製粉と食品利用における特性                     | 高松研一郎 他     |
| 解説           | 米と砂糖の調理科学: 食品における粒と粉                        | 森井沙衣子 他     |
| 解説           | チョコレートの製造とおいしさの発現における粉体工学の役割                | 小泉晴比古 他     |

令和6年10月30日印刷  
令和6年11月10日発行

## 粉体工学会誌

© The Society of Powder Technology, Japan

第61巻第11号(通巻666号)(2024)

一般社団法人粉体工学会：〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル7階  
TEL: 075-351-2318 FAX: 075-352-8530  
No. 5 Kyoto Bldg., 181 Kitamachi, Karasuma-dori, Rokujo-agaru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8176, Japan  
E-mail: office@sptj.jp (庶務) kaishi@sptj.jp (和文誌編集) URL: <https://www.sptj.jp/>

編集兼発行人：一般社団法人粉体工学会(代表理事会長 後藤 邦彰)

印刷所：中西印刷株式会社  
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル  
TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050 E-mail: [funtai@nacos.com](mailto:funtai@nacos.com)